

列島

いんぷおめーしょん

PLUS

月刊公論ならではの視点で集めた、日本全国からの情報と世界からの話題をお届けします。

北海道 10月3日は道産の日

北海道鮭商生活衛生同業組合では、2007年より「10月3日」を「トウ」と「サン」と読んで「道産の日」とし、毎年組合加盟店で特別メニューやセットメニューを販売。今年には「北海道」と命名されてから150年目。先人たちの歴史や偉業を振り返り、感謝の気持ちを込めて来店者に道産ネタの握りずし2かん（または代替品）を無料提供する。

開催場所 北海道鮭商生活衛生同業組合加盟店（販売期間・条件は地域や店によって異なる）

青森 青森空港と三沢空港から観光地などへ定額料金の実証実験開始

青森と三沢空港から主要都市や観光地へ定額料金で走行する実証実験が始まった。地方空港では初の取り組み。例えば青森空港↔青森市中心部が3000円、同空港↔

八甲田エリアが6500円、同空港↔十和田湖エリアが1万6500円など。個人客や外国人客向けに、メーターを気にせずにタクシーを利用してもらおうのが狙いで、通常料金より10000円前後割安だ。運行期間は2019年3月29日まで。

岩手 小岩井農場の紅葉狩り

小岩井農場では、10月下旬から真っ赤に色づくヤマモミジやハウチワカエデなど、紅葉の観察会を行なっている。10月は大花壇で約3000本のコスモスも開花。また、園内では農場めぐりやトラクタートレインに乗つての自然満喫ツアー、宮沢賢治ゆかりの建造物見学など、さまざまな過ごし方ができる。

開催場所 岩手郡雫石町小岩井農場

宮城 気仙沼市と松島市に韓国版トレッキングコース「オルレ」開通

「オルレ」とは韓国発祥の言葉で豊かな自然が楽しめるトレッキングコースを指す。もともとは「家へ帰る細い道」の意味。気仙沼市の唐桑コースと東松島市の奥松島コースが済州オルレから認定を受け、10月7・8日に開通する。唐桑コースで

はリアス式海岸の絶景、奥松島コースでは松島四大観の一つである大高森や縄文時代の貝塚などの眺望が楽しめる。

秋田 紅葉と滝のマイナスイオンでリフレッシュ

落差57m、幅3〜30m、日本の滝百選にも選ばれた「法体の滝」。県の天然記念物第1号に指定され、秋はモミジやカエデ、ツタ、ブナなどが色づく。2.5kmのハイキングコースからの景色が美しく、紅葉まつりが10月21日に開催。和太鼓演奏、本懐獅子舞、岩魚釣り、抽選会などが行なわれる。

開催場所 由利本荘市法体園地

山形 第48回かみのやま温泉全国かかし祭

地元の農業高校の生徒たちが作ったかかしを競い合ったのがきっかけで始まった祭。これまでにもかかしのイメージを打ち破るゴジラやポケモンなどが登場。週末はステージでダンスなども披露される。今年のテーマは「平成のおもいで」。かかし協力金100円を払うと、投票もできる。

開催場所 上山市役所東側市民公園

●福島●JRとバスを活用し奥会津の観光誘致

会津乗合自動車と県は奥会津の観光誘致とJR只見線の利活用を目的とし、只見線と奥会津の観光地を結ぶバス3路線を運行。10月上旬までは週末のみ、紅葉の見頃である10月上旬から11月上旬までは毎日の運行。3路線はJR只見線の会津若松駅—会津川口駅、会津田島駅—只見駅、会津田島駅—会津川口駅で、道の駅や温泉、観光名所にも停車する。1日乗り放題のチケットも販売。

●茨城●下妻市のご当地グルメバーガーに舌鼓

道の駅ならぬ、歩いて立ち寄る「さん歩の駅『さん・SUNさぬま』」で、地元の食材を使ったハンバーガーを限定販売。パテは「紫峰牛」と「伝説の下妻金豚」、糖度16度のタマネギ、水耕栽培によるレタスなど、地元選りすぐりの食材を使用。「伝説のしもつま至宝バーガー」と命名され、土・日曜30食の限定。砂浜に座って海を見ながらの絶品バーガーはいかが。[開催場所]さん歩の駅『さん・SUNさぬま』

●栃木●グランプリロードR123パレード

全国から集結した約1000台のオートバイが、白バイの先導で道の駅もてぎ—茂木市街地—ツインリンクもてぎの区間を走行。全国でも珍しいバイクによるパレードだ。普通二輪免許以上の所持者なら参加可能(有料)、レース場を走行できるのも楽しみの一つ。「Ride Safety, Ride Green(安全運転、エコに走行)」が合言葉。

●群馬●沼田市でフルーツ狩り(有料)

沼田市には野菜やフルーツ狩りを楽しめる観光農園が数多くあり、9月から10月はブドウ狩り、同じく9月から11月はリンゴ狩りが楽しめる。低農薬、減農薬をモットーに「性フェロモンを利用した害虫駆除」方法で栽培されているのが特徴。環境と人に優しいリンゴが味わえる。

●埼玉●荒川河川敷 第20回コスモスフェスティバル

鴻巣市大芦の約4.5kmにわたる荒川河川敷とコスモス吹上の一帯では約1200万本以上のコスモスが

咲き乱れる。キャンパスイエロー、ピコティ、シーシェル、センセーション混合など多品種のコスモスを愛でることができ、10月27・28日の両日には「コスモスフェスティバル2018」も開催。ライブ演奏、フリーマーケット、ダンス、模擬店などのイベントも盛りだくさん。

●千葉●新種落花生の名前は「Qナッツ」

全国で生産される落花生の約8割のシェアを誇る千葉県。おいしく、誰にでも食べてもらえる落花生づくり之余念のない同県で、新しい品種が開発された。愛称は「Qナッツ」。これまでのPeanutsを超える味という意味で、「P」の次の「Q」がつけられた。はつきりした甘味、あつさりした食べやすさが特徴で10月中旬より専門店や農産物直売所などで販売予定。

●東京●障がいのある人もない人も一緒に楽しむスポーツと文化の祭典「SPORTS of HEART 2018」

ノーマライズ駅伝や障がい者スポーツの体験ブース、アスリートのトークショー、障がい者アーティスト

による作品展示など、障がい者と健常者が一緒に楽しめるイベントが多数企画されている。参加する人すべてが出演者。ムーブメントの輪の広がりが期待される。今年で6回目、10月13・14日の開催。

●神奈川●ワンコインで気軽に落語を「見番寄席」(有料)

温泉の町、湯河原ではたった500円、小学生以下は無料で落語が楽しめる。寄席は毎土・日曜の午後の実施。ふらりと気軽に立ち寄ることができるのが魅力だ。60分間の笑いで心をリラックスさせた後は、温泉で体もリラックス。土曜の夜の部は温泉付きの料金もある。

●新潟●長岡市でトキの一般公開、全国で3ヶ所目

同県佐渡市、石川県能美市のいしかわ動物園に続き、長岡市にあるトキと自然の学習館にある観覧棟「トキみ〜」でトキを無料見学できる。鳥インフルエンザなどによるトキの絶滅を避けるため、平成24年長岡市にも飼育センターを開設、10月から

飼育を開始した。今回公開されたのは佐渡から送られたオスの4羽。

【開催場所】長岡市寺泊夏戸 トキと自然の学習館

●富山●万葉の世界を歌い継ぐ「高岡万葉まつり」

「万葉集」を代表する歌人の一人、大伴家持が奈良時代に国守に赴いたことから、高岡市では「万葉のふるさとづくり」に努めている。その催事で、高岡古城公園の堀に浮かぶ水上舞台では、万葉集全20巻4516種が3昼夜にわたって歌い継がれる。毎年2000を超える人が朗唱に参加。茶会やコンサートなども実施される。10月5〜7日。

【開催場所】高岡古城公園

●石川●酒蔵をめぐる日帰りハイキング「SAKE MARCHÉ 2018」

石川の地酒と美食の祭典「サケマルシェ」の開催に合わせ、加賀、金沢、白山麓、能登の酒蔵見学をしながらの日帰りツアーが4回行なわれる。ろくろ体験、グラスホルダーづくり、笹寿しづくりなど地元の手芸品づくり体験や、杜氏や蔵人からの話も聞ける。10月20日の「サケマル

シェ」では、地酒とともに味自慢の料理も味わえる。

【開催場所】サケマルシェはしいのき迎賓館

●福井●2万株の菊花が壮麗「2018たけふ菊人形」

菊人形を中心に、菊花の展示、ショーなどあらゆる年齢の人々が楽しめる恒例の行事。始まりは昭和24年。武生は菊づくりが盛んで、品評会が盛んだったことに由来する。特に菊人形展は全国的にも知られ、今年は大河ドラマ『西郷どん』を中心とする幕末を彩った人物たちがお目見えする。

【開催場所】越前市武生中央公園

●山梨●紅葉と渓谷美を眺めながらハイキングを「西沢渓谷」

平成の名水百選にも選ばれた西沢渓谷。清流と滝などが続く変化に富んだ景観で、景勝地としても名高い。10月中旬から11月下旬にかけて赤や黄金に色づくモミジ、カエデ、ブラカラマツが楽しめるトレッキングコースも人気。コースの最奥部には日本の滝百選に選ばれた七ツ釜五段ノ滝が見事だ（渓谷入口のバス停から徒歩約1時間30分）。

●長野●光前寺 紅葉のライトアップ

県内有数の大寺であり、樹齢数百年の杉の並木やしだれ桜、庭園の美しさが知られる光前寺。秋は紅葉がライトアップ、一般公開される。10月下旬から11月上旬の週末の実施で、紅葉に見え隠れする堂塔はとても幻想的。10月は光苔も見頃。1・2kmほど北西の駒ヶ根ファームスこまくさ橋周辺にも500本のモミジが植えられ、こちらも必見。

【開催場所】光前寺



紅葉と堂塔のライトアップは実におごそか

●岐阜●関ヶ原の合戦を間近に「関ヶ原合戦祭り2018」

10月20・21日開催の全国の戦国ファンが集うイベント。参加者が甲冑を身にまとい、東軍と西軍に分かれ合戦を再現、戦国絵巻が繰り広

げられる。鉄砲隊の演武、ライブ演奏、戦国グッズマーケットも行なわれ、前後して関ヶ原のウォーキング、交流館では甲冑を着ての記念撮影もできる。

【開催場所】関ヶ原ふれあいセンターとその周辺など

●静岡●のろしは現代版口けつ「朝比奈大龍勢」

戦国時代、今川氏家臣の朝比奈氏と岡部氏ののろしが起源とされる朝比奈川の龍勢は、静岡県指定の無形民俗文化財。農民ロケットとも呼ばれ、高さ約20mの常設櫓から発射され、白い煙を上げながら宙で炸裂する。昼に17本、夜に13本と規模は全国一。昼の部では落下傘が舞い、夜の部は落下傘部分が花火となり、見応えがある。10月20日開催。

【開催場所】朝比奈大龍勢会場

●愛知●からくり人形と4年に一度の「山車祭」が見もの「戸田まつり」

300年以上の歴史をもつ名古屋市の戸田まつりは、5つある小村落（割）がそれぞれの山車を引き、お囃子や道踊りを披露しながら練り歩く。見どころはからくり人形。寛

政8(1796)年ごろに作られたといわれ、山車や道踊り同様、それぞれの割によつてからくりが異なる。今年は4年に一度の各割5台の山車が勢揃いする。

開催場所 名古屋市中川区戸田八幡社

三重 ●名古屋の湯の山温泉間で足湯列車

近畿日本鉄道株式会社は、列車に乗りながら足湯が楽しめる「足湯列車」を近鉄名古屋駅―湯の山温泉駅間に直通運行させる。走行は10月6日から翌2019年2月24日までの土・日・祝日。観光列車「つどい」に当日菰野温泉の源泉からくんだ温泉を入れ、楽しんでもらう。乗車した人には、特典としてコースター型記念乗車証や日帰り入浴料やロープウェイなどが割引になる「湯の山温泉割引手形」のプレゼントもある。

滋賀 ●びわ湖の眺望を空中から満喫(有料)

打見山から蓬萊山にかけて広がるびわ湖バレイで、びわ湖を眺めながらワイヤーを滑車で滑るジップラインが人気。7つのコースではそれぞれの絶景が楽しめるが、長さ169

m、高さ25mの最長コースは特に出色。ふたり一緒に滑るダブルラインも4コースある。バレイ内では景色のいいロープウェイも人気。ジップラインは11月11日までの営業。

開催場所 びわ湖バレイ

京都 ●京丹後市のマンホールが庁舎に展示

SNSを中心に静かなブームとなっているマンホールのふた。ご当地自慢を活かした個性豊かなデザインに、マンホーラー(マンホールをめぐる人)やマンホールカードも誕生し、海外からの注目度も高い。同市役所丹後庁舎正面玄関には、天女とサツキ、子午線等とチューリップなど市内各エリアの6つのマンホールが展示され、評判を呼んでいる。

公開場所 京丹後市役所丹後庁舎正面玄関



天女とサツキがデザインされた京丹後市峰山町のマンホール。ほかにも龍、子午線とチューリップなどもある

大阪 ●「岸和田だんじり祭」(10月祭礼)

10月6・7日は東岸和田地区、南掃部地区、八木地区、山直地区、山直南地区、山滝地区の祭礼。300

年以上の歴史を誇る岸和田だんじり祭は、山車が道の角で勇壮に駆け

る「やりまわし」が見どころ。勢いよく回るためには各町内のチーム

ワークが発揮され、やりまわしがうまくいくと拍手喝采となる。

兵庫 ●六甲山の夜を秋色に彩る「Landscape in Rokko」

六甲山の自然体感展望台をフレームで覆い、LED照明で内側からライトアップ。1000万色以上の色が四季折々の光のアートを見せてくれる。今年のテーマは「枕草子」。LEDは自然光に近い輝きで、とても幻想的。秋の光のアートは11月30日まで。

開催場所 六甲ガーデンテラス・自然体感展望台 六甲枝垂れ

奈良 ●金堂外陣からの特別拝観(有料)

五重塔や金堂といった国宝や、弥勒堂や木造文殊菩薩立像などの重要文化財を収蔵する室生寺で、金堂におかれている国宝の釈迦如来立像

と十二面観音立像を拝観できる。普段は入れない金堂の諸仏を拝見できるのは貴重。拝観料は有料だが、特製記念品ももらえる。

開催場所 室生寺

和歌山 ●高野山で紅葉狩り

弘法大師が開祖の真言宗、総本山である高野山は日本仏教の聖地の一つで、「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部として世界遺産にも登録されている。高野山にはモミジやカエデなどの落葉広葉樹も多く植生し、10月下旬から11月中旬にかけてが見頃。金剛峯寺から壇上伽藍への道は紅葉のトンネルとなる。ライトアップもされ、夜の紅葉も夢想的。

開催場所 高野山

鳥取 ●鳥取県が星取県に!?

鳥取市は環境省が実視する「全国星空継続観察」で1位に輝き、県内のどの市町村からも天の川が見え、流れ星が見やすいことから「星取県」を名乗っている。大山開山1300年を記念して、米子市では10月20日、大山「星のフェスティバル」を開催。プラネタリウムの上映やトークショー、星空ウォッチングを楽しめる。星取県星空マップはアプリで見

ることも可能。

開催場所 米子児童文化センター

●島根●外国人観光客に人気ナンバー1の日本庭園 有料

アメリカの日本庭園専門誌で15年連続で日本一の庭園に選ばれた足立美術館。2017年には外国人観光客が急増、大ガラスを通して見える美術品を堪能していく。同美術館は横山大観のコレクションでも知られ、大観生誕150年を記念して「横山大観vs日本画の巨匠たち」展を開催。大観の作品と同じタイトルものを2点1組で公開している。

開催場所 足立美術館

●岡山●岡山への観光旅行はちよっとお得

7月の西日本豪雨を受けて、岡山には被災地から離れていながら観光客が激減したエリアがある。観光庁は支援事業として、岡山県ほか2県の被災地に2泊以上連続して宿泊した旅行者に対し、宿泊施設によって最大6000円の割引を実施。宿泊証明など手続きを踏む必要はあるが、倉敷市の美観地区や児島地区などは通常どおり営業しているの

で、狙い目だ。

●広島●厳島神社の菊花祭

世界遺産にも登録されている厳島神社の秋の恒例行事。10月15日午後5時から菊の花を御神祭に供える式典で、高舞台で舞楽が始まる。舞人と楽人の神職によって「振鉦」「万歳楽」「延期楽」など11の舞楽が奉納され、厳かな舞と調べはまさに幽玄の世界へと誘う。

開催場所 厳島神社

●山口●花の絨毯が出色「山口ゆめ花博」(有料)

約1000万株、色とりどりの花などの絨毯が会場を埋め尽くす。山口県オリジナルの食用「はなつこり」や「白オクラ」も要チェック。期間中は卓球の石川佳純さんのトークセッションや、竹コースターの試乗体験、AKB48 Team 8や一青窈さんのライブ、光の浮き輪パレード、ブルーインパルス展示飛行など、イベントも目白押し。

開催場所 山口きらら博記念公園

●徳島●秋が旬「海洋伊勢エビ祭り」

徳島県の南岸にある海陽町。町を代表する食材である伊勢エビを、旅館や民宿に泊まっ

てから味わってもらおうという食事と宿泊を合わせた、お得なパッケージを実施する(10月中)。協賛するのは町内の8つの宿。料金は1泊2食付きで1万800円(税込)。夕食に旬の伊勢エビが必ずつく。

開催場所 海陽町内協賛宿泊施設

●香川●香川県立ミュージアム10周年(有料)

美術館と歴史博物館がコラボをした新しい形のミュージアムである、香川県立ミュージアム。開館10周年を迎え、2つの会期に分けた展示会が好評。Part 1「いろのかたち、わくわくのひみつ」に続き、Part 2として「いつものくらし、いいね、これ」を開催。少し昔の着物や食器、家具を展示してものづくりへのこだわりを紹介する。30万点の収蔵品のなかから学芸員選りすぐりの品が鑑賞できる。

開催場所 香川県立ミュージアム

●愛媛●観光列車「伊予灘ものがたり」

西日本集中豪雨の影響で「時取りやめていた「伊予灘ものがたり」の観光列車が運転を再開。週末は多くの人でにぎわう。レトロな列車に

は、窓を大きく取ってダイナミックな伊予灘の景観を楽しめるシートや、4人用のボックスシートに加え、愛媛の味が堪能できる料理も提供。景色を眺めながら地産料理に舌鼓が打てるのも魅力だ。4つの路線があり、観光地にも停車する。

●高知●第24回四万十川ウルトラマラソン

平成6年から、毎年10月21日(日)に開催される四万十市〜四万十町(旧十和村)〜四万十市の清流沿いを駆け抜けるマラソン。100kmの部と60kmの部があり、全国や海外から約2400人のランナーが参加。参加者を上回るボランティアのサポートと住民の声援に支えられて開催される。参加資格は18歳以上(高校生を除く)。

●福岡●日本一の実験タワーでハロウィン・イルミネーション(有料)

年を追うごとに定着しつつあるハロウィン。仮装をせずとも楽しめるのが福岡タワーに映し出されるハロウィンのイルミネーション。アメリカではかぼちゃに彫られるジャック・オー・ランタンがタワーに登場し、福岡の町にちよつと怖い笑顔を振り

まぐ。展望室でも無料で衣装貸出。メーク(有料)もしてくれる予定。

開催場所 福岡タワー

●佐賀 ●佐賀インターナショナルバルーンフェスタ

10月31日から11月4日にかけて、嘉瀬川河川敷に世界から参加した約100機の気球が舞い、競演する。アニメのキャラクターや斬新なデザインの気球が舞い、夜は内側からライトアップされて幻想的。インスタ映えすると若い女性も数多く駆けつける。佐賀の特産品を販売するブースも開設。

開催場所 佐賀市嘉瀬川河川敷



個性豊かな気球の競演はダイナミックで、圧倒される

●長崎 ●10月7〜9日開催、長崎くんち

380年の伝統をもち、奉納踊りは国の重要無形民俗文化財にも

指定されている長崎くんち。諏訪神社、中央公園、お旅所、八坂神社を会場に、市内59の町を7つの組に分けて奉納踊りが披露。唐獅子踊り、唐人船、阿弥陀船などは異国情緒に溢れる長崎ならではの「くんち」とは旧暦の9月9日に行われたことが由来といわれる。

●熊本 ●熊本の資源を活かした、優美な灯の祭典「熊本暮らし人まつり みずあかり」

熊本城の堀などに浮かぶ約5000の竹灯籠。竹に掘られたモチーフが蠟燭の優しい光でライトアップされ、実に幻想的な雰囲気漂う。ボランティアを中心に市民が一体となつて作り上げるまつりは2004年に始まり、2016年には日本夜景遺産の「ライトアップ遺産」にも認定された。10月6・7日の開催。

開催場所 熊本城坪井川

●大分 ●QRコード決済でキャッシュレス化へ

キャッシュレスに慣れた外国人観光客の取り込み、また2019年ラグビーW杯大分開催に向け、大分の信販会社オーシー、豊和銀行はQRコードやバーコードによるキャッシュ

レス決済の導入に努める。スマートフォンに表示されるQRコードを、加盟店の専用端末器が読み込むと、客の口座から代金が引き落とされる仕組み。インバウンド客の獲得で地域活性化につなげる。

●宮崎 ●30の酒蔵の銘酒が大集合「みやざき酒フェス2018」

県内約30の蔵元の選りすぐった日本酒や焼酎、クラフトビールやワイン、約100銘柄が一堂に会し、シーガイアオリジナルの日南レモンを生かしたパエリアやスイーツのメニューも味わえる。だれやみチケットは好きなお酒3〜5杯とおつまみ1品、ティスティングチケットなら焼酎銘柄を何杯でも試飲可能。10月12・13日の実施。

開催場所 シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート南特設会場

●鹿児島 ●鹿児島三大行事の一つ「妙心寺詣り」

関ヶ原の合戦の際、西軍の島津勢は東軍を突破し帰鹿(鹿児島)に帰ること(こと)を果たした。旧暦9月14日(関ヶ原の合戦の前夜)武士たちが往時をしのび往復約40kmの道のりを甲冑、兜をまとい、島津義弘公の菩提寺である妙心寺に参拝したのが始

まり。現在は鹿児島市内から日置市伊集院町まで約20kmの道のりを参拝する。郷土芸能の奉納や、ウオークラリー(20km、10km)、物産展なども実施。10月27・28日の実施。

開催場所 徳重神社

●沖縄 ●ギネス認定された世界一の大綱の綱挽き「那覇大綱挽き」

直径1・56m、西方の女綱100mと東型の男綱100m、総重量40トンの大綱を西方、東方に分かれて約1万5000人が挽き合う。発祥は1450年頃の琉球王朝時代、祝いや中国からの賓客をもてなすために行なわれたという。綱引きの前に女綱と男綱をかぬち棒で結合させ、実際に引く手綱は280本にもなる。28万人が集う、沖縄最大級の行事。

開催場所 那覇市国際通りなど

●台湾 ●台北メトロ 日本名でアナウンス

台北メトロ(MRT)は日本人観光客のため、日本語で駅名を車内アナウンスする。すでに一部の駅で実施されていたが、日本人が多く訪れる観光スポットを中心に、士林、東門、淡水、北投、中山、龍山寺などが新たに加わった。